

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年8月7日～2017年8月13日】

[当地報道をもとに作成]

平成29年8月18日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼露大統領のアブハジア訪問(8日)

・プーチン露大統領がアブハジアを訪問し、ピチヴィンタ(ピツンダ)にてハジンバ「アブハジア共和国大統領」と会談。国防、警察、経済、医療の分野における露・アブハジア関係について議論した。

・会談後、「プ」露大統領は、「ロシアはアブハジアの社会経済発展に関する貢献、安全保障、十分な政治的支援を継続する」と述べた。また、アブハジア内の露軍基地は「地域の安定の保障において重要な役割を果たし続ける」と述べた。

・会談後、ハジンバ「大統領」は、「国防・安全保障の共通の枠組み」の構築およびロシアとアブハジアの「外交政策の連携」に向けた取り組みが継続されるとして、「アブハジア共和国はロシアの忠実な同盟国・友好国である。同盟と戦略的パートナー関係の原則に基づく実り多いアブハジア・露協力が両国の人々に更なる恩恵をもたらし続けると確信している」と述べた。

・アブハジア内で議論を巻き起こしている共同情報連携センターの設置について、「プ」露大統領は、センターは「犯罪との戦いにおける共同の努力の効率性の向上」を目的としており、「アブハジアのロシア人観光客の安全の保障の問題を含め、非常に重要である」と述べた。ハジンバ「大統領」は、センターの設置に関する合意は既に「アブハジア共和国議会」によって「批准」されたとして、「センターは犯罪との戦いにおける重要な機関になるだろう」、「アブハジアにとって住民および外国からの客が心地よい環境で暮らすことは決定的に重要である」と述べた。

・ジョージア外務省は「プ」露大統領のアブハジア訪問を批判する声明を発表。在ジョージア EU 代表部および米國務省も批判声明を発表した。

2. 外 政

▼2008年の戦争から9年が経過(7日)

・2008年8月7日の戦争開始から9年が経過したことに因みジョージア外務省が声明を発表。

・声明は、現在も2008年8月12日の停戦合意に違反し、占領と事実上の併合政策を継続しているとしてロシアを批判。また、ロシアの挑発的な行動にも拘らず、ジョージア政府は法的拘束力のある武力不行使の宣言を何度も行なうなど紛争の平和的な解決に向け努力しており、

EU・NATO への統合において前進を遂げたと述べている。更に、声明は、ジョージアの主権・領土一体性に対するパートナー諸国・国際機関の支持を評価し、戦争の結果に対する努力の結束と露・ジョージア紛争の平和的な解決を国際社会に呼びかけている。

▼ジョージア・ウクライナ大統領電話会談(8日)

・ポロシェンコ・ウクライナ大統領のイニシアチブにより、マルグヴェラシヴィリ大統領と「ポ」ウクライナ大統領の電話会談が行われた。「ポ」大統領は、2008年8月の戦争から9年が経過したことに因み、領土一体性・主権に対する揺るがぬ支持と連帯をジョージア国民に対し改めて表明し、不正と侵略に対する両国の共同の戦いは成功裡に終了するだろうと述べた。「マ」大統領は「ポ」大統領の連帯に感謝を述べ、戦略的パートナー関係の意義を強調し、ウクライナ国民への支持を表明した。

▼多国籍軍事演習「Noble Partner 2017」が終了(12日)

・7月30日よりトビリシ郊外のヴァジアニ軍事演習場にて行なわれていた多国籍軍事演習「Noble Partner 2017」が終了。ジョージア(800名)、米国(1,600名)、アルメニア、ドイツ、スロベニア、トルコ、ウクライナ、英国から計2,800名以上の兵士が参加した。

▼カタールとの査証自由化(12日)

・カタールは、同国での30日以内の滞在についてジョージア国民に対する査証自由化を決定。カタール国民は既に無査証で90日までジョージアに滞在することができる。

3. 内 政

▼トビリシ市内の火災(8日)

・8日夜、トビリシ市ヴェラ地区のムタツミンダ山上で火災が発生。負傷者はいない。約2ヘクタールの土地が焼けた。約70名の消防士が出動し、夜半までには消火された。

▼地方知事の辞任(9日)

・グリア地方およびラチャ・レチフミ・クヴェモスヴァネティ地方の知事が辞任。ともに辞任の理由は明らかにしていない。野党は、2名の地方知事の辞任は10月の地方選挙に向けた与党の戦略に関連していると主張。アラヴィゼ地方発展・インフラ相は地方選挙との関連を否定。

▼自由民主主義者党の選挙不参加(11日)

・自由民主主義者党は、2020年の国会選挙に向けて準備を進めるため10月の地方選挙に参加しないと発表。
・2017年5月に自由民主主義者党は共和党と選挙連合を形成して地方選挙に参加する意向を発表していた。

▼内相とされる人物の通話音声の公開(13日)

- ・インターネット上で、ムゲブリシヴィリ内相とアヴァコフ・ウクライナ内相との電話での会話とされる録音が公開された。著名人や政治家を狙ったいたずら電話を行ってきたロシア人ストリャロフ氏が、ロシアのラジオ局に対し、アヴァコフ・ウクライナ内相を騙って自身が「ム」内相と話したものであると述べた。
- ・録音のなかで「ム」内相とされる人物は、サーカシヴィリ前大統領について、ウクライナ国内で拘束された場合にはジョージアに送還しないようウクライナ側に要請している。また、この立場はクヴィリカシヴィリ首相の同意を得ていると述べている。
- ・内務省は、「2人の内相が国家にとって重要な問題について保護されていない電話で話すことは考えにくい」とのコメントを出した。

4. 経 済

▼2017年1月～7月の空港利用者数(7日)

- ・経済・持続的発展省によれば、2017年1月～7月の国内の空港の利用者数は2,129,121人で前年同期比48.37%増。トビリシ国際空港1,658,366人(同43.62%増)、クタイシ国際空港232,775人(同86.48%増)、バトゥミ国際空港233,992人(同52.32%増)。
- ・航空機の発着回数は80,514回(同15.25%増)。貨物量は19,716トン(同32.47%増)。